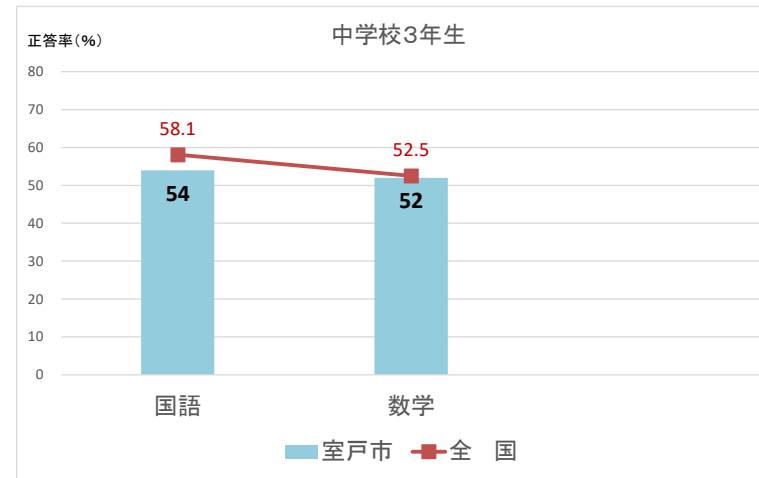
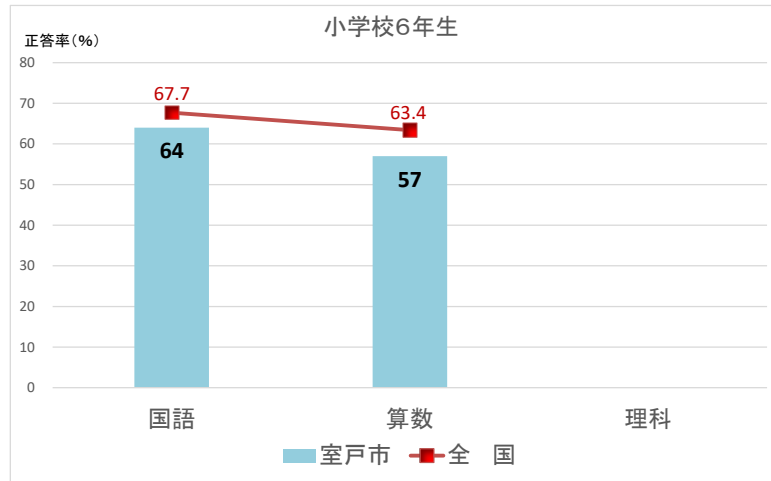


室戸市の子どもたちの「令和6年度 全国学力・学習状況調査結果」について

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力や学習の状況を把握し、学校での授業改善に活用したり、家庭等と協力して子どもたちの生活を見直したりする目的で実施されています。

今年度は国語、算数・数学の2教科と質問紙調査が実施されましたので、室戸市の子どもたちの結果についてお知らせします。

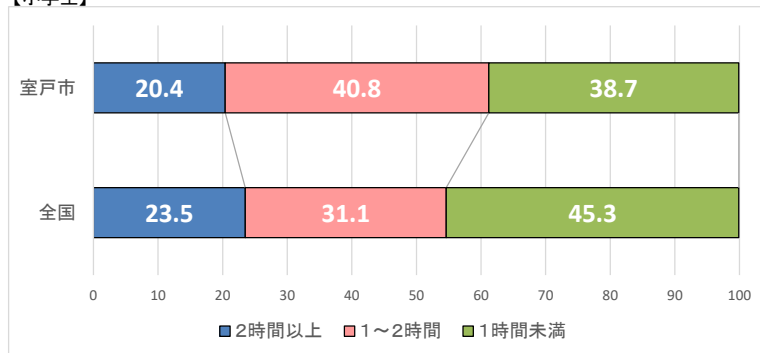
各教科の調査結果について



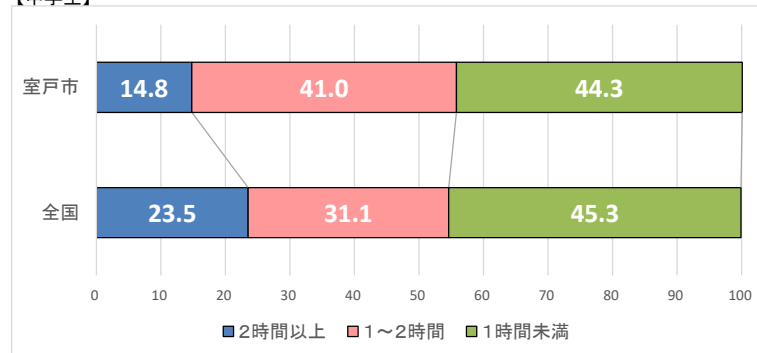
質問紙調査について(抜粋)

平日の家庭学習時間について(学習塾、家庭教師、インターネットでの学習を含む)

【小学生】

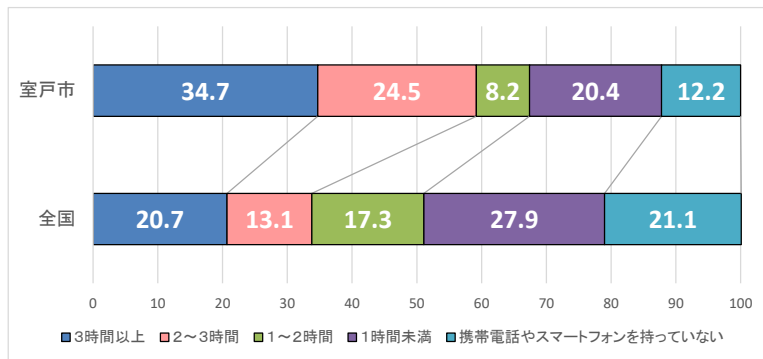


【中学生】



平日の携帯電話やスマートフォンでのSNSや動画視聴について

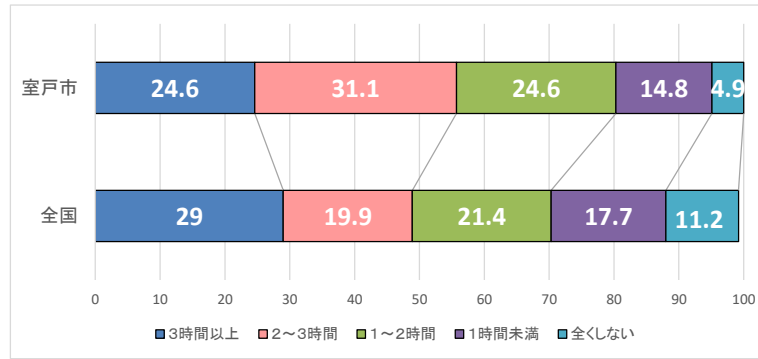
【小学生】



平日のテレビゲームについて

(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)

【中学生】



各教科の調査結果では小学校も中学校も国語、算数・数学ともに全国平均を下回る結果となりました。今回の学力調査結果分析等をふまえ、育成すべき資質・能力を明確にした授業改善を組織全体ですすめていく必要があります。

質問紙調査からは、室戸市内の小学校・中学校では、平日2時間以上家庭学習に取り組んでいる児童生徒の割合が、全国と比較すると少ないことが分かります。また、平日3時間以上、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画を視聴している小学生の割合や、平日2時間以上テレビゲームをしている中学生の割合が、全国と比較すると多いことが分かります。

パソコン・タブレット等を活用した授業や家庭学習、家庭との連携も進めながら、学力向上につなげていきたいと考えています。